

鳥取県病原微生物検出情報

(令和7年1月検出分 検体採取 令和6年9, 11, 12月、令和7年1月)

令和7年2月14日

鳥取県衛生環境研究所

1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体8件（検体採取12月中旬・下旬、1月上旬・中旬・下旬）について検査を実施したところ、A(H1N1)pdm09が7件から検出された。1件は陰性であった。

表1 2024/2025 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別					備考
年	月日			A(H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	B 系統不明	
2024	9月3日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月14日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月15日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月19日	西部	1	1	0	0	0	0	
	11月27日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月2日	中部	2	2	0	0	0	0	
	12月3日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月9日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月16日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月18日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月19日	東部	1	1	0	0	0	0	
	12月20日	東部	1	1	0	0	0	0	
	12月20日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月23日	西部	1	1	0	0	0	0	
	12月24日	東部	1	1	0	0	0	0	
	12月24日	中部	1	1	0	0	0	0	
2025	1月6日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月15日	西部	1	1	0	0	0	0	
	1月16日	中部	1	1	0	0	0	0	
	1月21日	西部	1	1	0	0	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2024/9/2~現在)			22	22	0	0	0	0	

国立感染症研究所の病原微生物検出情報（2月3日作成）によると、全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、2024/25 シーズンはA(H1N1)pdm09型が最も多く検出されており、次いでA(H3N2)型が検出されている。

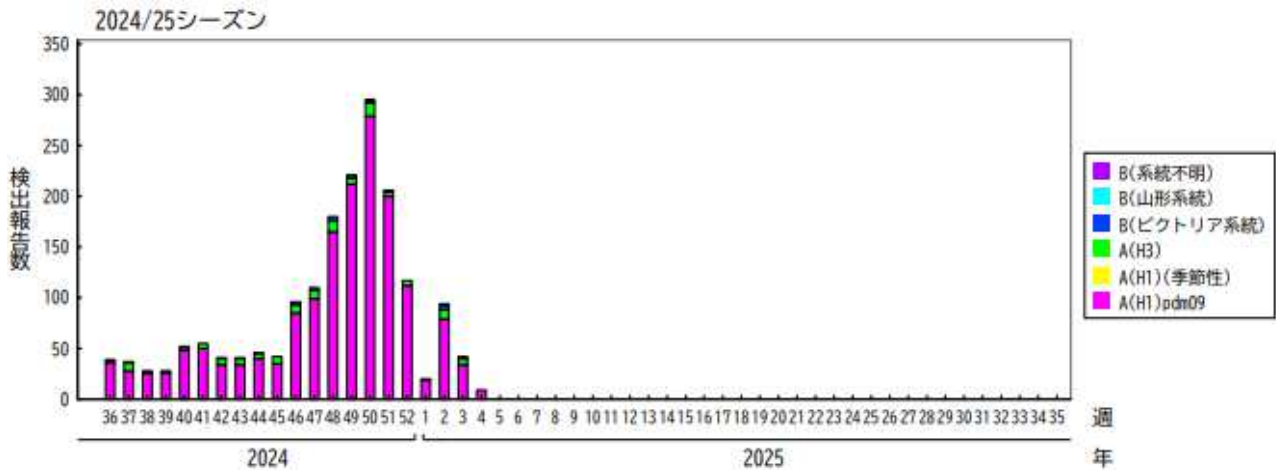


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2024/25 シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報（2025年2月3日作成）

2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の3件について検査を行ったところ、アストロウイルスが1件検出された。他の2件からはノロウイルス、サポウイルス、A群ロタウイルス、C群ロタウイルス、アデノウイルス（40/41型）及びアストロウイルスいずれも検出されなかった。

3 手足口病

臨床診断名が手足口病の検体3件について検査を行ったところ、1件からはエンテロウイルス（型不明）が検出された。他の2件からはエンテロウイルスは検出されなかった。

4 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの1件について検査を行ったところ、エンテロウイルスは検出されなかった。

5 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎及び流行性角結膜炎（疑）の3件について検査を行ったところ、アデノウイルス（D8）が1件、アデノウイルス（E4）が1件から検出された。他の1件からアデノウイルスは検出されなかった。

6 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の検体1件についてアデノウイルス、エンテロウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルス1, 2, 7の検査を実施したところ、原因となるウイルスは検出されなかった。